

空調衛生工事業

神空衛のご案内

一般社団法人 神奈川県空調衛生工業会

会長あいさつ

当工業会は、県下の「空調衛生設備工事」を専門とする有力会社75社を会員としている一般社団法人です。会には8つの委員会を設け、会員相互の融和を図るとともに、経営や品質等技術の研鑽やコンプライアンスの醸成、関係機関への要望活動等に努めています。

また、地域社会への貢献を第一に、県内の工科高校と協働した地域産業を担う人材の育成事業や平成21年に掲げた「神奈川発!! 地球にいいこと、ひとつずつ」の環境スローガンのもと、国連の持続可能な開発目標であるSDGsの達成に寄与すべく、地球温暖化防止とオゾン層の保護に努め、低炭素社会の実現や、環境負荷の低減に貢献する活動をしております。



神空衛の概要

当会は、設備工事（空気調和、暖冷房、給排水衛生、建築防災等の建築設備工事）に関する調査研究及び指導を行うことにより、技術の向上及び経営の合理化を図り、もって設備工事の適正な施工を確保し、地域社会に快適な環境を提供するとともに、公共の福祉の増進に寄与することを目的として活動しております。

当会の設立目的を達成するために、次の事業を行っています。

- 1・設備工事の技術、技能の改善・向上及び経営の合理化に関する調査研究
- 2・設備工事に関する経営、技術、安全、教育等の情報の収集及び提供
- 3・設備工事に関する研修会及び講習会の開催
- 4・関連する業界団体との情報交換及び意見交換
- 5・設備工事に関する陳情・請願・要請
- 6・関係行政機関が行う防災活動に対する協力
- 7・会報の発行
- 8・その他、設立目的を達成するために必要な事業

神空衛の沿革

- ・昭和40年2月25日 「神奈川管友会」創立
- ・昭和42年9月26日 「神奈川県管工事工業会」設立
- ・昭和42年12月26日 神奈川県知事から「社団法人」の認可を受ける
- ・昭和50年7月20日 「横浜市・機械設備工事施工マニュアル」初版を発行
- ・昭和54年5月28日 「社団法人 神奈川県空調衛生工業会」と改称
- ・平成11年12月20日 現在地（横浜市中区海岸通）に新会館完成
- ・平成21年1月16日 環境スローガン「神奈川発!! 地球にいいこと、ひとつずつ」を宣言
- ・平成25年4月1日 「一般社団法人 神奈川県空調衛生工業会」と改称
- ・平成29年5月12日 「設立50周年記念祝賀会」をロイヤルホールヨコハマで開催

神空衛の組織



会員の現況 (令和2年11月現在)

- 正会員 75社
- 賛助会員 44社

会員企業については、当会ホームページ掲載の会員名簿をご覧ください。

快適な生活環境の創造と地球環境へのやさしさを追求

空調衛生工事業は、建築物に不可欠な、空調設備（冷暖房、換気、排煙などの設備）、衛生設備（給水、給湯、排水などの設備）、冷凍冷蔵設備、クリーンルーム、プラント設備などの設備を提供しています。

私たちは、これらの設備を通して、人が働き・学び・憩い・遊び・暮らす居住空間や生産施設の節度ある最適環境を創造・保全するという重要な使命を担っています。その歴史は既に100年以上におよび、この間、私たちは空調衛生工事会社として技術を培い、その総合力を活かしてお客様のニーズを実現し、多くの建物に「いのち」を吹き込んできました。

そしていま、私たちは、歴史に培われた設備技術力・施工力・総合力を礎として、快適な生活環境の創造と地球環境保全（環境負荷低減）を両立させる、より一層高度な総合設備技術・サービスの提供に取り組んでいます。

空調衛生工事の内容

すぐれた技術で質の高い設備システムを構築し、快適で安全な環境の創造に貢献します。

設備システム

空気調和設備、給排水・衛生設備、自動制御設備、ガス設備、消火・防災設備、特殊環境設備、
冷凍冷蔵設備、地域冷暖房設備、原子力関連設備、浄化槽・排水処理設備

設備の重要性



空調衛生設備は、快適で利便性の高い生活環境や高品質で安全な生産環境を提供するためのものですが、それと共に、地球環境問題に対応した省エネ・省資源とライフサイクルコストへの配慮が重要です。

空調衛生設備は、いわば頭脳、神経、循環器、消化器、血管などが一体となった生き物で、一つのシステムとして作り上げ、運用していく必要があります。



空調衛生設備を十分に機能させるためには、適切な運転と保全が必要です。また、そのリニューアル（改修・更新）によって最先端の機能を身につけ、建物を生きかえらせることができます。

神空衛の活動紹介

総会及び表彰式



定時総会及び表彰式を毎年5月にロイヤルホールヨコハマで開催しています。

総会では、前年度の事業、決算報告、新年度の事業計画、予算案及び役員の選出などを決議し、表彰式では、本会会員として業界発展のため寄与された方々や安全スローガンの優秀賞受賞者の功績を称えて表彰しています。

新年賀詞交換会

新年賀詞交換会を毎年1月にホテル・ニューグランドペリー来航の間で開催しています。

当日は、神奈川県知事をはじめとする来賓約90名を含め正会員、賛助会員が約300名集い、和やかな懇談が行われます。



研修会・講演会

空調衛生工事業界を取り巻く環境が日々変化していることから、その時々のホットな課題をテーマに研修会を年2回程度開催しています。



当工業会の社会的使命の一つに、低炭素社会の実現や環境負荷の低減への貢献があります。この使命の具体化に向けた会員意識の醸成を目的に技術講演会を開催し、合わせて最新の省エネ技術等の紹介をしています。

親睦会

会員相互の親睦を深めるため、「ゴルフ」「ボウリング」「釣」「麻雀」の4種目を種目毎に年2回（前期、後期）開催しています。



神空衛の活動紹介

公立工科高等学校現場実習生受入事業

当工業会では産学連携による人材育成を目的に平成8年度から工業高校の建築設備関係の生徒を対象にインターンシップ事業を実施し、これまでに560名の生徒を会員企業が受け入れています。

インターンシップは、将来の社会生活の一端に触れることができ、また、受入企業では若者の意識や行動を知る良い機会となっています。



研修見学会（会員対象）

会員の技術向上を目的とした技術研修の一環として県内外の工場や公共施設などに直接赴く研修会を開催しています。



令和元年度
東京ガス袖ヶ浦 LNG 基地



平成30年度
みなとみらい21熱供給第2プラント



平成29年度
宮ヶ瀬ダム・愛川第1発電所

施設・現場見学会（高校生・教員対象）

空調衛生工事に関心を持つ人材の裾野を広げる事業として、空調衛生関係施設や工事現場に県内の高校生や教員を受け入れ、空調衛生設備を分かりやすく解説したり、空調衛生工事の現場体験を行う事業を実施しています。



神奈川の刊行物

会報

工業会を構成する会員や日頃から協力をいただく関係機関などに工業会が開催する行事や事業、あるいは会員の動静などをお知らせする情報誌として、会報を年に3回（1月、6月、11月）発行しています。



機械設備工事施工マニュアル

機械設備の品質を確保し、工事を円滑に進めるため、横浜市、(公財) 横浜市建築保全公社と共同して、昭和52年に機械設備工事施工マニュアルを発行し、施工現場の手引書として広く活用されています。

なお、その後マニュアルは6年おきに改訂し、現在平成29版を販売しています。

会員 5,800円 非会員 10,000円

安全ポスター

工業会では、労働災害防止の共通目標となる安全スローガンを毎年度会員から募集し、多数の応募作品の中から選定された最優秀賞のスローガンを基にポスターを製作しています。



● 表紙写真提供

公益財団法人 横浜市建築保全公社 理事長 二宮 智美 氏

【撮影場所】「象の鼻パーク」

横浜港を船籍とする「飛鳥Ⅱ」や大さん橋は、ブルーの空と海がとても似合います。

● アクセス

JR・地下鉄「桜木町」駅から徒歩10分

みなとみらい線「馬車道」駅6番出口から徒歩2分



一般社団法人 神奈川県空調衛生工業会

横浜市中区海岸通4丁目18番地 TEL 045 (201) 9536(代)

URL:<http://www.shinkuei.or.jp> E-mail:info@shinkuei.or.jp